



東神開発株式会社

〒158-0094 東京都世田谷区玉川3-17-1

☎(03)3709-0121(代表)



各 位

2012年12月14日

東神開発株式会社

株式会社高島屋

## ベトナム・ホーチミン市「サイゴンセンター1期」への 不動産事業参画について

株式会社高島屋の連結子会社である東神開発株式会社(社長 関 敏明、以下、東神開発)は、12月13日(木)サイゴンセンター1期事業の株式68%を保有する、アジア有数の不動産ディベロッパーであるケッペルランド社の子会社の株式33.4%(同事業の持分比率の約22.7%に相当)を取得する契約を締結致しました。

「サイゴンセンター」はホーチミン市中心部のレロイ通りに面する敷地で、ケッペルランド社が推進する大規模開発プロジェクトです。このプロジェクトの2期事業については、本年2月、タカシマヤシンガポールリミテッド(シンガポール高島屋)の100%出資による百貨店の出店、並びに東神開発による不動産事業への出資に係る契約を締結し、現在、開発計画が進められています。

今般取得する1期ビルは1996年に開業し、高感度なショッピングの場として、また、外資系金融機関、商社などが集まるインターナショナルグレードのオフィスビルとして高く評価されています。2015年開業予定の2期ビルとは、低層部の商業ゾーンが完全に一体化される計画となっており、店舗面積の合計は約55,000㎡となる予定です。

尚、1期、2期の商業ゾーンについては、東神開発のシンガポール子会社(東神ディベロップメントシンガポール)がケッペルランド社の子会社と設立予定の商業マネジメント会社が一体的に運営管理することを予定しており、国内及びシンガポールで培った百貨店を核とするショッピングセンターのマネジメントノウハウを発揮してまいります。また、エリアNO.1の商業施設を目指し、都市の成長に合わせて商業施設を拡大する更なる増床計画を検討してまいります。

高島屋グループは成長戦略の一つとして、成長著しい中国・ASEAN諸国を2軸としたアジア事業の拡大を目指しており、百貨店業と東神開発の不動産事業をあわせたグループの総合力を発揮して取り組んでまいります。



サイゴンセンター1期（左棟）  
2期（右棟） イメージ図

<Saigon Centre 1期計画規模>

	1期事業（今回参画）	2期事業 ※ （2012年2月事業参画済）	1期2期 合計
敷地面積	2,730 m <sup>2</sup>	8,354 m <sup>2</sup>	11,084 m <sup>2</sup>
建物規模	地上25階、地下3階	地上41階 地下5階	—
延床面積	39,300 m <sup>2</sup>	142,500 m <sup>2</sup>	181,800 m <sup>2</sup>
（概算）	商業 5,500 m <sup>2</sup>	商業 50,000 m <sup>2</sup> （内 百貨店 15,000 m <sup>2</sup> ）	商業 55,500 m <sup>2</sup> （内 百貨店 15,000 m <sup>2</sup> ）
	オフィス 12,800 m <sup>2</sup>	オフィス 40,000 m <sup>2</sup>	オフィス 52,800 m <sup>2</sup>
	サービスアパート 89室	サービスアパート 200室	サービスアパート 289室
開業	1996年	2015年開業予定	—

※2期数値は現段階での計画値

東神開発不動産事業参加概要

出資事業	「サイゴンセンター1期」事業
出資比率	現地事業の68%を保有するケッペルランド社子会社の株式33.4%を取得。 ※現地事業の持分比率の約22.7%に相当
事業期間	2043年6月までの予定（約30年間）

以 上